

半田市若者市民協働意識醸成事業

「学！^{がっ}コラボ 2023」

事業実施報告書

目次

1. 若者市民協働意識醸成事業	P 2
2. 「学！コラボ2023」とは	P 3
・ 開催概要、参加NPOの概要	P 4
・ 協賛企業	P 5
・ 開催実績	P 6
3. 参加NPO協賛金活用状況	P11
4. 「学！コラボ2023」フィールドワーク	P15
5. アンケート	P19

若者市民協働意識醸成事業

【目的】

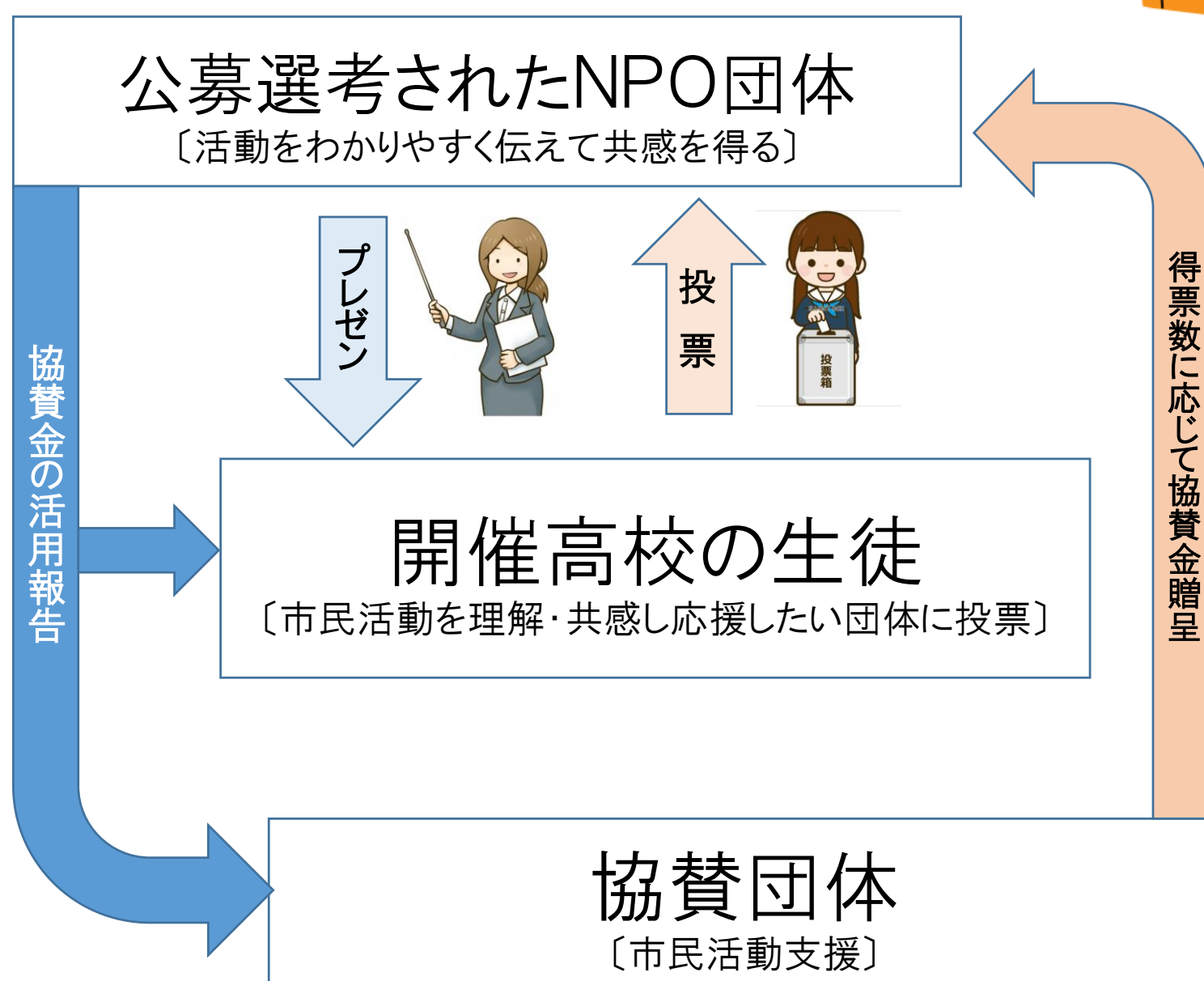
次代を担う若い世代(高校生)を対象に、市民活動の実態や活動支援の方法を理解してもらい、市民協働や社会貢献活動への参加につながるよう、協働意識の醸成を図ることを目的としています。

「学！コラボ2023」とは

参加NPOの活動が若い世代（高校生）にも「伝わる」「共感を得る」ためにプレゼン能力向上研修を受け、半田市内の高校でプレゼンテーションを行いました。

それを聞いた高校生が「共感した。応援したい。」と考えたNPOに投票し、その得票数に応じて協賛団体から協賛金が贈呈されたほか、NPOと高校生との意見交換を行いました。

【学！コラボ2023のしくみ】



1.「学！コラボ2023」開催概要

(1)スケジュール

場所	開催日時	参加NPO
愛知県立 半田農業 高等学校	①2023年10月11日(水) 13:50～14:40	・半田中学校避難所運営委員会 ・半田西成岩地区地域猫の会 ・半田ストーリーテリングの会 おだんごぱん
	②2022年10月18日(水) 13:50～14:40	

(2)内 容

- ① ・地域課題や取り組んでいるNPOについて講義
・参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
・生徒によるグループ討議
・各自で応援したいNPOへ投票
(得票順位に応じて協賛金額を決定)
- ② ・結果発表と協賛団体の紹介
・協賛団体からNPOに協賛金贈呈
・NPOからお礼のことば
・協賛企業からNPOと高校生に対することば
・生徒代表による選定理由発表
・生徒と投票先NPOとの意見交換

2. 参加NPOの概要

NPO名	主な活動内容
半田中学校避難所運営 委員会	半田中学校を避難所とする地域住民が中心となり、 避難所運営を考え訓練や勉強会などを実施
半田西成岩地区 地域猫の会	半田市任坊山公園内での地域猫活動 (餌やり、清掃、猫トイレの片付けなど)
半田ストーリーテリング の会 おだんごぱん	耳からの読書であるストーリーテリングを通して、子 どもたちにお話の楽しさを伝えるおはなし会を開催

協賛企業ご紹介

株式会社カネマタ（半田市中町）

創業100年以上にわたり、みなさまの大切な記念日をより魅力的にするお手伝いをしている知多半島最大の衣装店です。

これもひとえに、この地域の方や、お店に関わる取引先やスタッフを含めたすべての方のおかげです。

みなさまに喜んでもらえるようなサービスを継続して、よりよい社会や地域の実現へ向けて、「想ひで惟い」というカネマタのサービス方針と具体的な目標をあげて、サービス向上へ。そして、笑顔が自然と溢れるような商品作りと記念日が一人でも多くの人に迎えていけるように努めています。



株式会社ジェイワークス（半田市岩滑中町）

株式会社ジェイワークスは、「いろいろなハ・タ・ラ・ク」とおして、豊かな創造性で、広く、永く、発展していきます。素直な心で対応し、互いに認め合い、人として成長し、自己実現を目指すことを経営理念として仕事に取り組んでいます。その中の具体的な取り組み

として、専門技術、経験が豊かな高齢者の雇用を促進し、次世代に引き継げる体制を整え、互いに認め合い、豊かな創造性が生み出されるよう、外国人の雇用や男性中心となっていた管理職に女性を登用することを進めていきます。

また、営業車等に次世代自動車を導入することで、環境に配慮した会社を目指しています。



有限会社サカキ園芸場（半田市瑞穂町）

1970年1月サカキ園芸場を創立し、1989年4月20日有限会社サカキ園芸場に組織変更しました。

造園工事・土木工事・公共緑化工事・個人邸の緑化工事など、草取りから庭造りまでお客様のニーズにお応えします。

緑を愛し、知多の環境保全を考えています。



3. 開催実績

(1) 参加NPO募集

- 募集説明会開催

日時：6月7日（水）①15:00～16:00 ②18:30～19:30

場所：半田市市民交流センター



(2) NPO選考委員会開催

日時：7月14日（金）15:00～16:30

場所：半田市市民交流センター

結果：3団体選出（応募8団体）

選定の主な理由：他団体や関係機関と連携・協働して活動に取り組んでいる他

(3) NPOプレゼンテーション研修

公募で選定されたNPO3団体に、若者（高校生）に対して、より効果的なプレゼンテーションを実施し、伝える力の向上により、資金調達の向上にもつながるよう研修を行いました。

①全体研修：8月25日（金）14:00～16:00 オンライン(zoom)

	内容	講師
1	ファンドレイジングとは 事例紹介、自団体の整理	山崎 恵美子氏 (日本ファンドレイジング協会東海チャプター)
2	共感するプレゼンテーション 「伝える」から「伝わる」資料づくり	別所 大介氏 (NPO法人中部プロボノセンター)

②個別研修：9月15日（金）14:00～17:00 半田市市民交流センター

	時間	NPO名
1	14:00～15:00	半田中学校避難所運営委員会
2	15:00～16:00	半田西成岩地区地域猫の会
3	16:00～17:00	半田ストーリーテリングの会 おだんごぱん

個別研修は1団体ごとに、全体研修でのプレゼンテーション資料作成のレクチャーに従い、それぞれが作成した資料を基に行われました。プレゼンテーションを実践しながら、全体の構成や言葉の選び方など、高校生により伝わるプレゼンテーションとするための研修を受けました。

①全体研修（オンライン）

ワーク① 活動を整理してみよう！

1) ビジョン（目指す社会）

あなたの団体の受益者はどんな人（こと）か

受益者がどんな状態になることをめざしているか

2) ミッション（やるべきこと）

どんな事業を行うか

3) 必要な資源

ヒト・モノ・カネなどなど

受給者はだれか？

どうなってほしいのか？

そのために、何を提供するのか？

そのために必要なものは？

②個別研修



(4)「学！コラボ2023」開催

場 所：愛知県立半田農業高等学校（多目的室）

参加者：生活科学科 2年生（1回目 22名、2回目 23名）

○1回目；日時：2023年10月11日(水) 13:50～14:40 [50分]

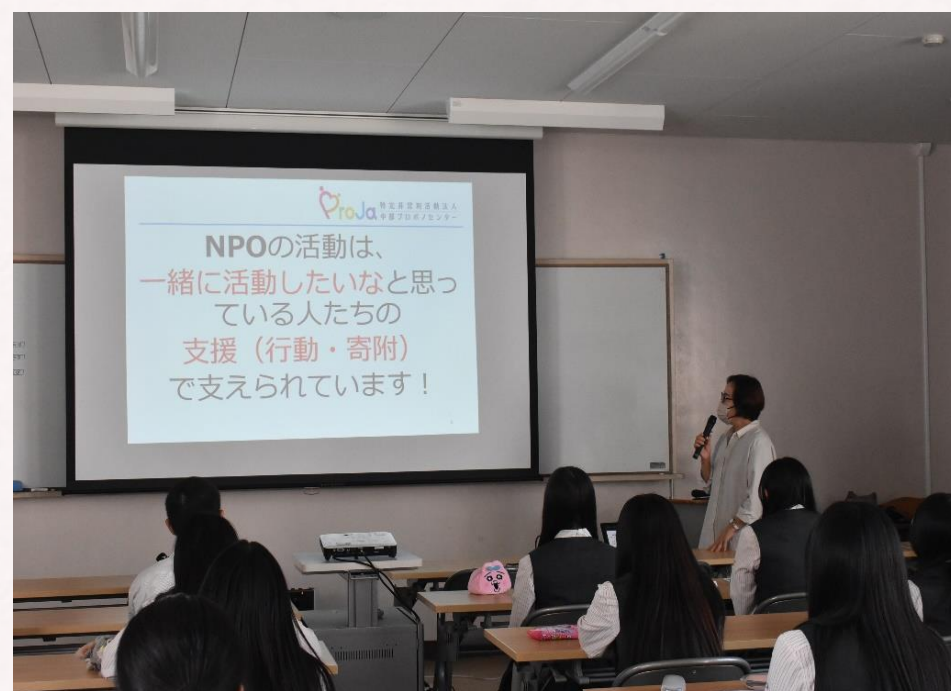
- ◇ 地域課題や取り組んでいるNPOについて講義
- ◇ 参加NPOによる活動内容のプレゼンテーション
- ◇ 生徒によるグループ討議
- ◇ 各自で共感し、応援したいNPOに投票

NPOや市民協働について、NPO法人中部プロボノセンターの大須賀事務局長による基礎講義が行われた後、NPO 3団体からプレゼンテーションが実施されました。

その後生徒間でグループ討議を行い意見交換をしました。

最後に個人が応援したい団体を決め、団体名・投票理由を記入し投票しました。

基礎講義（NPO、市民協働について）



①生徒間でグループ討議



②個人で応援先を選び投票用紙に記入



③投票



半田中学校避難所運営委員会（沢田ミカ氏）



みんなで考えよう！避難所のこと

☆「誰にとっても優しい避難所」

私たちが目指す理想な避難所であるために、平穩な今だからこそできることを、みんなで時間をかけて備えています。

☆半田農業高校のサツマイモの苗

災害時の食料の足しに半田中学校の防災畑で栽培しています。このような活動を通して中学生の防災意識が変化しています。

☆高校生の皆さんにお願い

本当に一番大切な備えは、普段からの人と人とのつながりです。沢山の人が経験や得意なことでチカラを発揮して、運営します。みなさんのチカラも貸してください。そこに想いやりの気持ちがあれば最強です。

半田西成岩地区地域猫の会（鈴木陽一氏）



人と猫の幸せな共生が実現できる街

☆人と猫(ノラネコ)の共生を実現する地域猫活動→半田市任坊山公園内

- ①餌やり(365日/毎日実施)
- ②シェルター設置(断熱材/毛布を入れ、飛ばないように固定)
- ③医療(病気や怪我の猫を捕獲して適切な治療を実施)、
- ④公園内の清掃・見回り、(猫トイレを用意して糞尿清掃を毎日実施)、
- ⑤啓蒙活動(虐待防止や置き餌禁止の啓蒙)

☆高校生の皆さんにお願い

毎週でなくても「長期休暇中だけ」でも良いので、地域猫活動に参加してみませんか？

半田ストーリーテリングの会おだんごぱん（船戸淑子氏）



ストーリーテリングで子どもたちを笑顔に
—おはなし会を通しての子育て支援—

☆ストーリーテリングとは

絵本も紙芝居も使わず、お話を丸ごと覚え一人一人の子どもたちと目を合わせて語ります。

☆ストーリーテリングを聞いてみよう

・図書館や児童館などでおはなし会を開催しています。絵などないので自由に想像して聞けます。

☆高校生の皆さんができること

ストーリーテリングをやってみましょう！
お話を聞く→お話を覚えて語る。

➡楽しい時間を過ごし、みんなが笑顔になる。

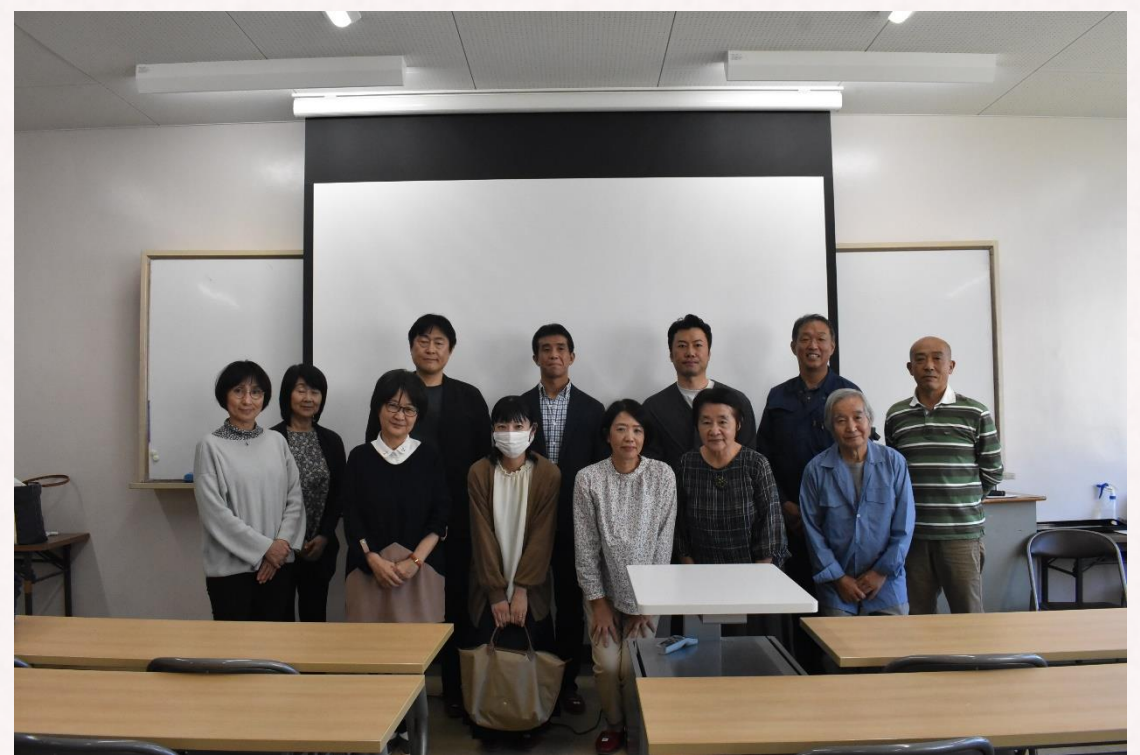
○2回目；日時：2023年10月18日(水) 13:30～14:20〔50分〕

- ◇ 投票結果報告（投票数、協賛金）
- ◇ 協賛金贈呈（NPO3団体：目録贈呈、記念撮影）
- ◇ NPOからお礼のことば
- ◇ 協賛企業からのメッセージ
- ◇ 生徒による選定理由の発表（代表）
- ◇ 生徒と投票先NPOとの意見交換

協賛3企業よりNPOに目録贈呈



参加NPO3団体と協賛3企業



投票した理由を発表する生徒

投票したNPOに質問したり、補足説明を受けたり意見交換する生徒たち



投票結果

団体名	投票数	協賛金額
半田西成岩地区地域猫の会	13票	50,000円
半田中学校避難所運営委員会	6票	30,000円
半田ストーリーテリングの会おだんごぱん	3票	10,000円
合計	22票	90,000円

○参加者の声

半田農業高等学校 生徒

- ◇皆さんが本当にこの活動が好きでやられているんだということが伝わって、とても良い時間になった。
- ◇コミュニケーションが大事ってことがよくわかった。
- ◇沢山の課題があることを知った。誰かがやるじゃなくて自分がというふうに変えていきたい。
- ◇ペット用のキャリーに入れたりした状態で捨てられていたら、動物虐待とみなされるので、警察に通報して愛護センターに保護してもらえる。今はよほどのことがなければ、殺処分されない。動物が豊かに暮らせますように。
- ◇最後まで育てられるというちゃんとした責任感を持てる人が、動物を飼って欲しいと思う。
- ◇ボランティアには参加していないけど、ノラ猫のお世話をよくしているので、話を聞いていてとても共感するところばかりで、楽しく話ができ良かった。
ボランティアに参加しようかな。
- ◇みんなが安心して避難できるように地域の方々が行動に移してくれているのだと知った。
- ◇色々な特技を持った人たちが集まって頑張っていることがわかった。
- ◇一度覚えたお話は宝物になると聞いて、とても素敵だなと思った。短時間意見交換しただけなのに、自分も自然と笑顔になるような素敵な時間だった。

半田農業高等学校 先生

- ◇今回の事業全体は、高校生にとって理解されやすいものを感じ、生徒に伝わっていた。
- ◇生徒の感想を聞いて、この事業をやって、良かったと思った。

参加NPO

- ◇高校生へ向け、活動内容を思いのとおりにプレゼンすることはできた(3団体)。
- ◇委員会が大切にしているオモイがある。これを伝えていくことが目標としている「誰にとっても優しい避難所」づくりには大切と感じている。
ただ、それを伝える相手によって、伝え方が違うし、伝え方についても改めて学ぶことができた。
- ◇地域猫活動の担い手は高齢化が進んでおり、今後のボランティア不足が懸念されている。
そのため、少しでも若い世代に関心を持ってもらえるよう今後もPRを続けていきたいと考えている。
- ◇ストーリーテリングについて知ってもらえた点は、収穫だと思う。
- ◇支援金を頂けたことはもちろんありがたいが、プレゼンの方法を教えて頂けたこと、高校生との意見交換、他の団体さんの活動も伺えて、勉強になった。

参加NPO協賛金 活用状況

若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2023」協賛金活用状況報告

団体名	半田西成岩地区地域猫の会
URL	https://sites.google.com/view/handa-catlife
協賛金額	50,000 円

活用目的

- ①地域猫活動を理解してもらうためのPR活動
- ②地域猫用シェルター（休息場所）の整備
- ③地域猫の体調管理のための医療/投薬費

活用状況

①ニッ坂カーニバル 地域猫PR&募金活動参加	②地域猫用シェルター作成 (老朽更新)	③体調不良の地域猫の医療費
		

今後の活動に向けたメッセージ（抱負など）

当会への投票、誠にありがとうございました。皆様のご厚意を活用させていただき、怪我をした地域猫への適切な医療の提供や、厳冬期前にシェルター整備（老朽更新）をすることができました。
今後も「人と猫の幸せな共存」を目標に、地域猫活動を継続的に推進して参ります。

若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2023」協賛金活用状況報告

団体名	半田中学校避難所運営委員会
URL	—
協賛金額	30,000円

活用目的

12月3日(日)に行った「第7回避難所運営訓練」のために活用

活用状況

実際の災害時に役立つ訓練を実施。地域・中学生ボランティアが168名参加。参加者は避難者として、避難所を開設し、避難所を運営するための方法を訓練しました。
協賛金は、訓練に必要な備品、子ども用プログラムの備品、また、避難所運営を学ぶために講師(防災士)をお願いしたため、講師料として活用させて頂きました。
協賛金のおかげで、より充実した訓練を行うことができました。

【当日の様子】場所:半田中学校体育館



避難者受け入れから誘導



避難所運営について



今後の活動に向けたメッセージ(抱負など)

地域のみなさんや生徒たちにとって、半田中学校はいつでも「誰にとっても優しい」場所であり、災害時は「誰にとっても優しい避難所」になることを目標に、日ごろのつながりをより大切にして、本当の災害時に役立つ活動を行います。

若者市民協働意識醸成事業「学！コラボ2023」協賛金活用状況報告

団体名	半田ストーリーテリングの会 おだんごぱん
URL	odangopan12gmail.com
協賛金額	10,000円

活用目的

おはなし会の看板を製作して会場に設置します。
おはなし会后、子どもたちに貸し出すため、お話が載っている本を購入します。
おはなし会のチラシを印刷するための用紙を購入します。

活用状況



お話会の看板



チラシ印刷用紙

お話が載っている本3冊
おはなし会后、子どもたちに貸し出します。

今後の活動に向けたメッセージ(抱負など)

応援していただいたおかげで、南吉クリスマスおはなし会に向けて素敵な看板もできました。子どもたちを笑顔にするため、これからもたくさんのお話を覚えて語っていきたいと思います。ぜひ、おはなし会にお越しください。

若者市民協働意識醸成事業

^{がっ}
「学！コラボ2023」

フィールドワーク

「学！コラボ2023」フィールドワークとは

高校生が身近な地域で課題解決のため活動している市民活動団体を知り、理解し、共感することで、若い世代の協働意識や社会参画・貢献意識の醸成を図る「学！コラボ2023」を開催しました。

その2回の授業で学んだ生徒が、自分が投票した団体の活動現場に行き、実際に体験することでより一層理解を深めてもらうねらいでフィールドワークを実施しました。

1.「学！コラボ2023」フィールドワーク開催概要

(1)開催日時：2024年1月15日(月) 9時00分～10時40分

*任坊山公園 9時20分～10時20分

(2)参加者：半田農業高等学校「学！コラボ2023」参加者 21名

*詳細は下表参照

場所	受入NPO	体験内容	高校生人数	団体人数
愛知県立半田農業高等学校	半田中学校避難所運営委員会	・避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、災害対応カードゲーム教材クロスロードを実施 ・災害を自分に引き寄せて考える時間を作る	4名	7名
	半田ストーリーテリングの会おだんごぱん	1.おだんごぱんのメンバーのお話を聞く 2.発声練習 3.資料 グリムの昔話「おいしいおかゆ」を音読 4.自分のパートを覚える 5.リレー方式で語ってみる 6.感想発表など意見交換をする	4名	3名
半田市任坊山公園	半田西成岩地区地域猫の会	・活動場所の掲示物、シェルター、水飲み場、猫トイレの説明 ・実際に捕獲する場合に使用する捕獲器の使用方法についての説明 ・シェルター内の敷物や冬用カイロの交換体験 ・オヤツなどのエサやり体験やふれあい体験	13名	2名
			計	21名
				12名

(3) 体験の様子

半田中学避難所運営委員会

生徒感想

こんなに楽しく団体活動をしているなら、自分も協力してみたい

- ・ゲームの中で、それぞれの場面で、どんな選択を行ったか振り返り、みんなの判断を共有した。立場や年齢関係なくそれぞれが自分の意見を自由に発言し、終始良い雰囲気の中行うことができた。
- ・どの判断も決して間違いではなく、尊重すべきものであるし、みんなの判断を聞くことで、それぞれが災害を自分事としていろいろな考えを巡らせており、防災意識の向上という面で成果を感じた。



【チームでゲームをしながら避難体験】

半田西成岩地区地域猫の会

生徒感想

投票した結果で得た協賛金を使って購入したのを見ることができ、自分自身の1票が活動支援につながったと感ずることができた

参加生徒は、地域猫活動に対し関心を大きく持っており、団体の方へ個人的に質問する生徒や、活動に参加したいと申し出る生徒が見られた。また、「自分が住んでいる地域で、地域猫活動は実施されているのか？」など、興味を持つ姿が見られた。



【市内の公園で地域猫活動を体験】

半田ストーリーテリングの会おだんごぱん

生徒感想

ストーリーテリングを体験することで、表情や表現、人の顔を見ながらの語り方、接続詞のむずかしさなどを感じた

絵本が好きな生徒たちが集まっており、おだんごぱんの語りに惹きつけられる様子うかがえた。「子どもを楽しませる活動がしたい」という参加者の意見があり、「絵本がなくても、どこでも楽しませることができる」という団体の想いが伝わっていた。



【ストーリーテリングを体験】

若者市民協働意識醸成事業

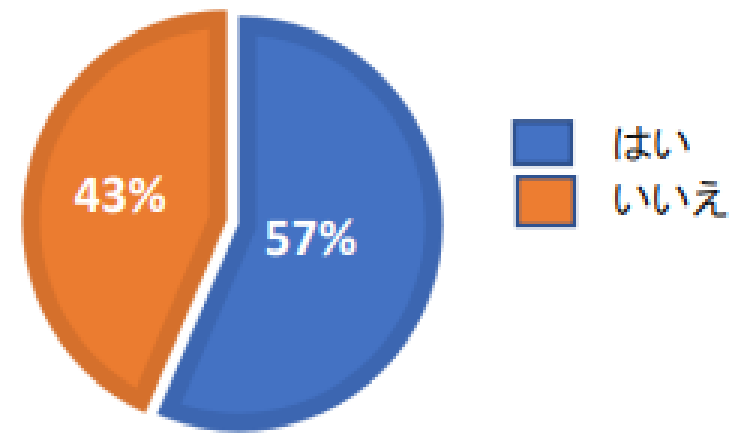
^{がっ}
「学！コラボ2023」

アンケート

◇対象：愛知県立半田農業高等学校 2年生 23名

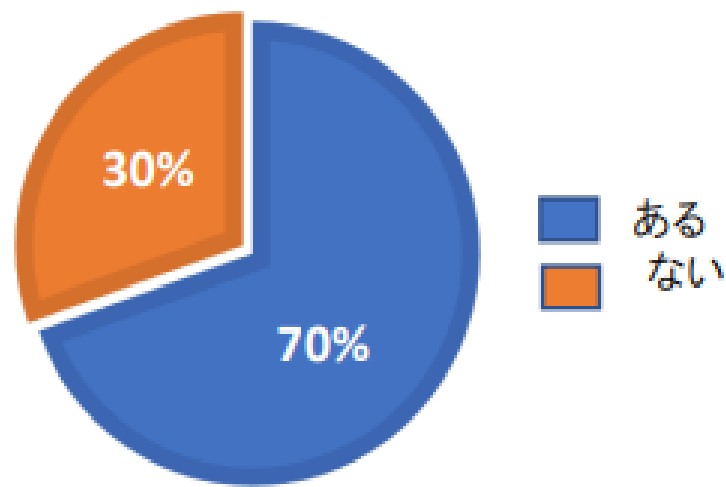
1. 地域環境や社会課題に取り組んでいる市民活動が、身近にあることは知っていましたか？

はい	13名
いいえ	10名



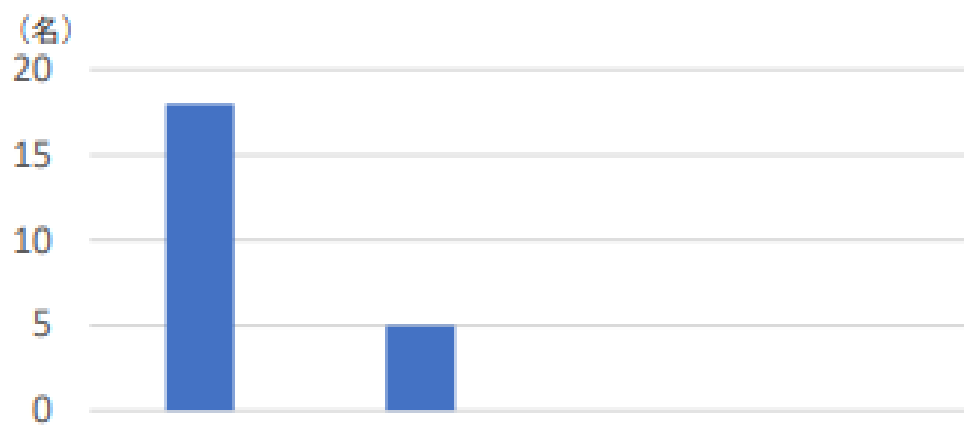
2. これまでに、地域の草刈り、ごみ拾いなどの地域活動や募金などの社会貢献活動に参加したことはありますか

ある	16名
ない	7名



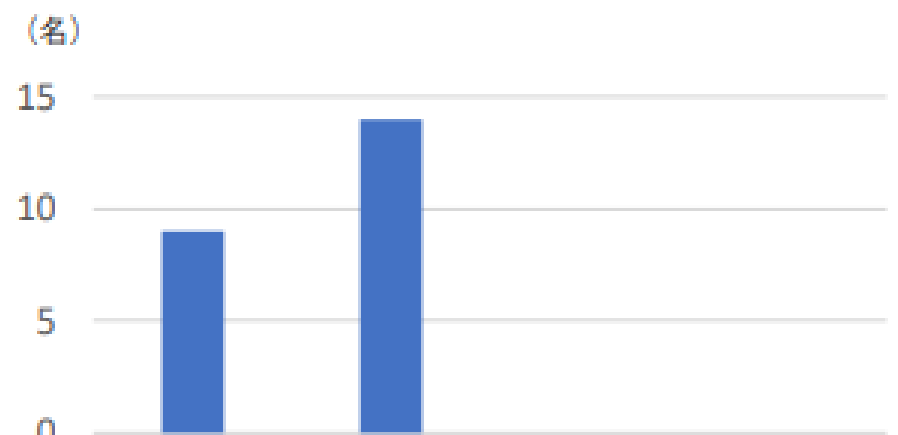
社会貢献活動	人数	社会貢献活動	人数
ゴミ拾い	6	草刈り	3
海のゴミ拾い	2	猫の世話	2
駅のゴミ拾い	1	土壌掃除	1
ゴミの分別	1	避難所運営	1
		募 金	1

3. 今回の市民団体のプレゼンで、活動の内容が伝わってきましたか？



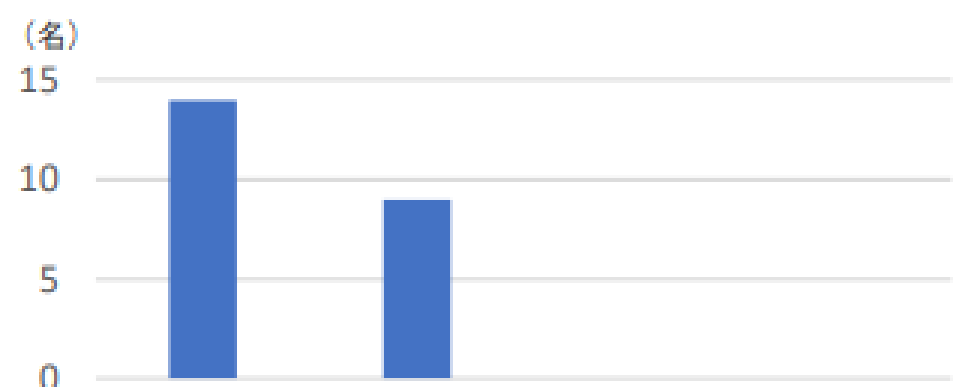
良く伝わった	伝わった	あまり伝わらなかった	伝わらなかった
18名	5名	0	0

4. 自分も何らかの形で地域貢献や社会貢献活動へのActionを起こしてみたいと思いましたか？



とても思った	少し思った	あまり思わなかった	全く思わなかった
9名	14名	0	0

5. 社会貢献や協働(住みよいまちづくりのための活動を行う様々な団体や組織が、一つの目標に向かって、それぞれの得意分野を生かして、力を合わせて活動すること)について、理解が深まりましたか？



良く理解できた	理解できた	まだよくわからない	理解できない
14名	9名	0	0

半田市若者市民協働意識醸成事業

がっ
「学！コラボ2023」事業実施報告書

2024年2月

主 催：半田市企画部市民協働課

受託団体：特定非営利活動法人中部プロボノセンター